



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

子どもたちの自然体験と学習支援活動

メタデータ	言語: 出版者: 東京学芸大学環境教育研究センター 公開日: 2023-08-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 白木, 昭憲 メールアドレス: 所属: 特定非営利活動法人国分寺市にふるさとをつくる会
URL	https://u-gakugei.repo.nii.ac.jp/records/2000011

報告

子どもたちの自然体験と学習支援活動

白木 昭憲

特定非営利活動法人国分寺市にふるさとをつくる会

Nature Experience and Learning Support Activities for Children

Shiraki Akinori

The Association for Making One's Hometown of Kokubunji City (Non-Profit Organization)

Key Words: nature experience, leader training, PDCA, integrated study, present issues

I. はじめに

特定非営利活動法人国分寺市にふるさとをつくる会（以下、ふるさとをつくる会）は、東京都国分寺市を中心とした周辺地域をフィールドとし、地域の環境に関わる様々な活動を展開するNPO法人である。また六つの関連団体を擁し、地域の防犯パトロール・防災活動等、「安心・安全の街づくり」の視点で活動の幅を広げている。本稿は、設立から今日に至る活動の中で、当会の中核活動とする、子ども達対象の自然体験学習支援活動についての報告である。

II. 法人設立の経緯と活動方針

1. 国分寺市にふるさとをつくる会の創立

ふるさとをつくる会は、2001年に創立し、2003年にNPO法人を設立した市民団体である。創立時、国分寺市西恋ヶ窪緑地（通称エックス山）の有効活用策として野草の観察会を始めたが、文部科学省「こどもの居場所づくり」の提唱を受け、子どもたちのふるさとづくり事業として、自然観察会を開催した。

2. 活動の基本方針

「学校教育における体験活動の意義」は、以下のようなものとされている。

- ①学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。(教育基本法)
- ②児童の体験的な学習活動、特にボランティア活動など社会奉仕活動、自然体験活動その他の体験活動の充実に努めるものとする。(学校教育法)
- ③国立オリンピック記念青少年総合センターがおこなった実態調査によると、下表のように3分の一の児童が自然体験は、ほとんどないという状況である(国立青少年教育推進機構2014)(表1)。

表1 児童の自然体験の実態

項目	ほとんどない
チョウやトンボ、バッタ等の昆虫を捕まえたこと	34.9%
野鳥を見たり、泣く声を聞いたこと	34.4%

この遊離を補うことをボランティア活動の方針とすることにした。

Ⅲ. 活動継続のための方策

1. 指導者養成

子ども達対象の自然体験学習支援ボランティア活動を継続的に行う要件として、指導者養成をおこなうことが重要である。2006年に自然体験活動推進協議会(CONE)の指導・協力を得て指導者養成講座を開講した。(2018年終了)

引き続き「講座」はCONEで受講することができる。当会は、資格習得に必須な「演習」を行っている。特に重視していることは、他所で講座を受けた人の「演習」も実施していることである。スタッフ・指導者募集を強化するため、国分寺市「緑のボランティア制度」・イベント及び当会イベントで募集した人が、「演習」は森の自然塾で体験し、その他各地の観察会・近隣地の歴史・史跡などの探訪で、指導者としての資料作成と実践でリーダーやインストラクター資格取得に挑戦する仕組みが整っている(図1)。

当会には、自然体験指導者(NEALインストラクター・リーダー)が19名在籍している。2020年度から新しい自然体験活動指導者認定制度(NEAL)が発足した。この制度は、CONEが開催し、全国10団体が演習を受け入れ協力するという仕組みであり、国分寺市にふるさとをつくる会はその一翼を担っている。



図1 養成カリキュラム

2. 自然体験活動認定制度の「概論」「演習」の内容

自然体験活動認定制度の「概要」と「演習」の内容は、以下のように構成されている（表2・表3）。

表2 自然体験活動認定制度の「概要」の内容

科目	主な内容	時間
ガイダンス	指導者認定制度の仕組み リーダーの役割	1.5
青少年教育	青少年教育における体験活動の意義	1.5
特質	地域自然体験の特色	1.5
	自然体験活動の意義と課題	1.5
対象者理解	対象者理解の方法	1.5
指導	指導者としての基本的な心構え	1.5
技術	様々な自然体験活動の体験 (1)	1.5
	様々な自然体験活動の体験 (2)	1.5
	自然体験活動の構成	1.5
安全管理	自然体験活動における基本的な安全管理	1.5
	応急処置	1.5
認定試験	認定試験	0.5

表3 自然体験活動認定制度の「演習」の内容

科目	主な内容	時間
特質	自然体験活動の特色に関するフィールドワーク	1.5
	地質、動植物、天候の観察に関するフィールドワーク	1.5
対象者理解	対象者理解の実態 (1)	1.5
	対象者理解の実態 (2)	1.5
指導	自然体験活動の基本的な指導の実態 (1)	1.5
	自然体験活動の基本的な指導の実態 (2)	1.5
技術	自然体験活動の基本的な技術 (1)	1.5
	自然体験活動の基本的な技術 (2)	1.5
	自然に配慮した自然体験活動の体験 (1)	1.5
	自然に配慮した自然体験活動の体験 (2)	1.5
安全管理	基本的な安全管理と応急処置の実際 (1)	1.5
	基本的な安全管理と応急処置の実際 (2)	1.5

3. フィールドの保全・整備 (国分寺姿見の池緑地保全地域)

国分寺姿見の池緑地保全地域は、面積10,553 m²、標高70～80 m、樹林区域はコナラ・クヌギ主体の雑木林で湧水池・湿地を備え多様な植物相が維持されている。保全地域内には、7種の環境省希少種・北多摩希少種が植生している。また、国分

寺市内唯一の湿地には貴重な植物、冬季には渡り鳥を観察することができる。保全・整備作業には、「国分寺姿見の池緑の会」が当たっている。

- ①自然環境保全法、東京都条例に基づく東京都保全地域「保全活動ガイドライン」に沿って保全・整備を行っている。
- ②作業日は毎月第一日曜日だが、随時作業も行っている。

この地区の植物調査は、「ふるさとをつくる会」のメンバーが担当している。毎年春季調査及び以降随時観察を行い、データ管理・活用し、広報用資料及び子ども達対象の学習資料を作成した（資料1）。

姿見の池緑地保全地域は、中学校・小学校自然環境学習フィールドおよび保育園児達の活動フィールドとして使用されており、活動の中では資料1が活用されている。



下草刈りの様子



遊歩道づくり



野鳥観察の様子



多くの園児が訪れる

IV. 主な自然体験学習支援の活動内容

「ふるさとをつくる会」独自の事業としては、小学校低学年の子どもを対象として、年10回、観察やクラフト等を主に「自然塾」と称する自然体験学習の場を実践している。

また、外部と共同で実施する活動としては、小学校の総合学習の一部を小学校と協力して担当する学習支援と、東京都環境局事業で、協働で行う自然体験プログラム「里山へGO！」について紹介する。

「森の自然塾」プログラム

1-1 プログラム概要

「森の自然塾」プログラムは、5月～翌年3月迄の期間国分寺市内10小学校1～3年生を対象に、国分寺市教育委員会後援・国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成で開催している。指導は当会会員、自然体験活動認定指導者NEALインストラクター・リーダーが担当している。

プログラムの実施に伴い、以下の図のような運営体系をとっている（図2）。

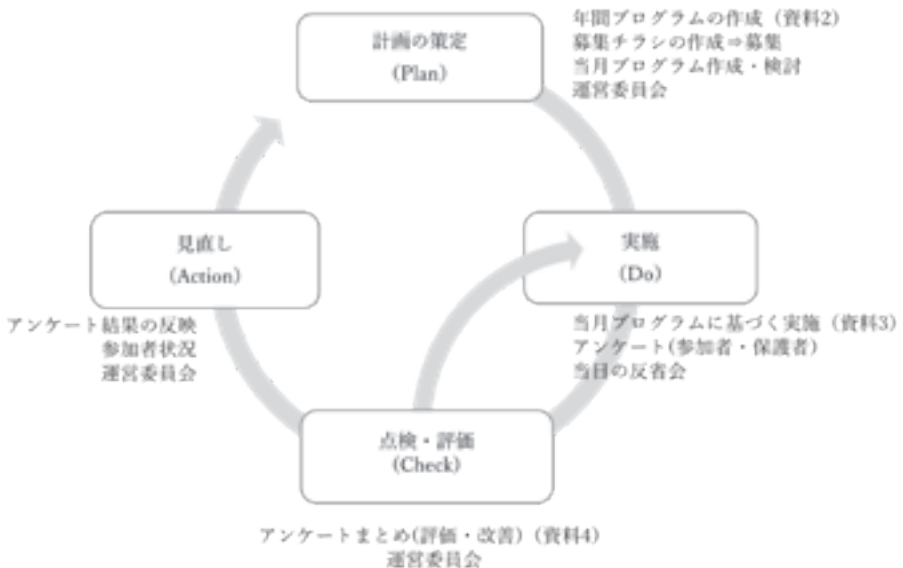


図2 運営体系

資料2 年間プログラム

楽しさいっぱいの「森の自然塾」2019年度
開催場所：西恋ヶ窪緑地（通称X山） 開催時間：9時30分～12：30分

回	開催日	プログラム
1	4月17日	A. 花はどうして咲くのかな？（解説） B. 春のX山、花探しビンゴゲーム C. ストロー吹き矢飛ばしゲーム
2	5月19日	A. X山の樹木や草花を観察しよう B. X山の生き物を観察しよう
3	6月16日	A. 葉っぱのはたらき？（解説） B. 草笛をならそう
4	7月21日	A. 変わった面白い植物探し（匂い・形） B. 竹の水鉄砲を作っての当てゲーム
5	8月18日	A. セミの羽化とセミの一生（解説） B. X山のセミの抜け殻調査
6	9月15日	A. 森の中に生息する生き物のつながり B. 葉っぱ・枝・実で動物クラフト作り
7	10月20日	A. 木が芽を出すのは？（解説） B. ドングリ独楽で相撲対決！
8	11月17日	A. ヒツキむし植物の色々（解説） B. 森のドリームキャッチャー作り
9	12月15日	A. 松ぼっくりの話（解説） B. クリスマスリース作り
10	2月16日	A. 鳥の特徴・鳥の不思議（解説） B. 双眼鏡の使い方と注意事項 C. 鳥の観察



「森の自然塾」の活動の様子

資料3 12月「森の自然塾」プログラム

「森の自然塾」(12月)プログラム 一部分のみ

開催日時: 2020年12月20日(日) 8:30~12:30 開催場所: 国分寺九小図書館

○プログラム及びスタッフ担当役割

プログラム①	松ぼっくりの話	富村
プログラム②	クリスマスリース作り	富村
プログラム③	今日から君はマジシャンだ	伊達

○班編成 参加人数20~25名想定(未就学児含む)

5テーブル 各テーブル4~5名編成

1班…二瓶、加藤	2班…長谷、片桐	3班…岡本、姫野、
4班…綿貫、三田	5班…田中、近江、嶋崎	

○タイムスケジュール

9:10~9:55

受付開始(受付のみ名札は九小で)(近江さん・岡本さん)
 体温測定・手指消毒・受付距離確保(二瓶さん・長谷さん)
 X山、挨拶、安全の話、プログラム説明、生徒誘導
 (休日診療:〇〇医院)

時間	内容
9:10~9:40	受付開始 近江・岡本
9:30~9:50	子供担当 綿貫:遊戯、体操・伊達:マジック他
9:50~9:58	挨拶(岡本) 安全の話(近江) プログラム説明(伊達)(挨拶・安全の話・説明は簡単に) 11月自然塾アンケート質問への回答(田中)
9:58~10:10	九小へ移動 九小受付(加藤さん・姫野さん)
10:10~10:15	トイレタイム(到着次第)
10:15~10:20	スタッフ紹介・プログラム説明
10:20~10:40	松ぼっくり、ヒマラヤスギの話(富村)
10:40~11:30	クリスマスリース作り
11:30~11:35	休憩(水分補給・トイレ)
11:35~11:55	今日から君はマジシャンだ(時間あれば:どんぐりの紙芝居)
11:55~12:00	アンケート
12:00~12:05	自然塾終了 次回自然塾の案内他(二瓶)

1-2 参加者状況

以下の表は、2019年度における「森の自然塾」の参加者実績である（表4）。

表4 「森の自然塾」参加者実績〈児童・保護者・未就学児・スタッフ〉2019年度

活動日	プログラム	児童	保護者	未就学児	スタッフ
4月17日	A.花はどうして咲くのかな？（解説） B.春のX山、花探しビンゴゲーム C.ストロー吹き矢飛ばしゲーム	21名	12名	1名	13名
5月19日	A.X山の樹木や草花を観察しよう B.X山の生き物を観察しよう	31名	28名	3名	13名
6月16日	A.葉っぱのはたらき？（解説） B.草笛をならそう	37名	28名	2名	13名
7月21日	A.変わった面白い植物探し（匂い・形） B.竹の水鉄砲を作っての的当てゲーム	37名	21名	2名	14名
8月18日	A.セミの羽化とセミの一生（解説） B.X山のセミの抜け殻調査	19名	13名	2名	9名
9月15日	A.森の中に生息する生き物のつながり B.葉っぱ・枝・実で動物クラフト作り	31名	17名	2名	14名
10月20日	A.木が芽を出すのは？（解説） B.ドングリ独楽で相撲対決！	30名	18名	1名	12名
11月17日	A.ヒツキむし植物の色々（解説） B.森のドリームキャッチャー作り	29名	20名	1名	12名
12月15日	A.松ぼっくりの話（解説） B.クリスマスリース作り	31名	19名	2名	13名
2月16日	A.鳥の特徴・鳥の不思議（解説） B.双眼鏡の使い方と注意事項 C.鳥の観察	18名	12名	2名	12名

1-3 参加者・保護者アンケートの結果

2019年9月の「森の自然塾」参加者と保護者を対象にアンケート調査を行った。以下の資料は、アンケートの結果をまとめたものである（資料4）。

資料4 2019年「森の自然塾（9月）」アンケート（参加者・保護者）集計結果

「森の自然塾」（9月）アンケート（参加者）集計結果 （注）一部削除

1. 森のなかの生きもののつながりについての話は、どうでしたか？

項目	1年生	2年生	3年生
(1) よくわかった	7	3	6
(2) すこしむずかしかった	6	3	3
(3) むずかしかった	1	0	0

※単位は（名）

2. 森のことで、もっと知りたいことがあれば、かいてください。

学年	項目	合計人数
1	もっと虫の名前が知りたい、虫のこと、	3
	カブトムシのこと、カブトムシも多いのかな、カブトムシの幼虫はどこにいるの	4
	もっと木を知りたい、一番高い木は何？ 何年で木は枯れるの、	3
	花の名前をもっと知りたい、木の実の名前をもっと知りたい)	2
	森には何種類の生きものがいるの？	1
	まだ見つけられていない森の生物	1
2	名前が貼っていない木の名前	1
	ここは、何年にできたのですか	1
3	とてもいっぱい種類があったこと	1
	エサ	1
	もっとかわいい花を知りたかった、まだアサガオが咲いていた、	2

まとめ

- ① 1年生は虫（特にカブトムシ）に関する関心が非常に高い
- ② 木の名前や寿命について興味がある。
- ③ 花や木の実については、もっと聞きたかったようだ。

3. 「X山の宝ものさがし」で、いちばんおどろいたものは、何でしたか？

一部削除

4. きょうの自然塾の感想を、聞かせてください

学年	項目	合計人数
1	楽しかった	8
	発見が多くて楽しかった	1
	また行きたい、ずっとやりたい	3
	疲れた	1
2	楽しかった、色々な虫を見つけて楽しかった 宝さがしが楽しかった	4
	いっぱいコガネムシがいた	1
	色々な実や木の名前が知りたい	1
3	楽しかった	4
	色々な名前の木の実や花があって楽しかった	1
	いろいろなものを見てうれしかった	1
	サンショウのにおいの事、マユミの木の実がふしぎな形をしていた事色々な名前の木の実や花があって楽しかった	1

まとめ：全体としては「楽しかった」が半数を超えた。

5. これまでにX山にきたのは、何回ぐらいですか？（きょうはいれない）

まとめ：最も多いのが初めて来た人（12名、46%）次が6回以上の人（7名、27%）と2極化の傾向がある。

「森の自然塾」（9月）アンケート（保護者）集計結果（注）一部削除

1. ご参加の動機は、何でしたか。

No.	項目	件数
1	ちらし	3
2	本人の希望。子供が興味を持った。 自然の中で遊ぶのが好きだから。子供が虫に興味がある。 子供が虫や植物が好きなので楽しめると思った。 この夏子供がX山で昆虫に夢中になったことがきっかけ	6
3	自然に触れて欲しいという思い。 子供が雑木林のことを聞いたことがないので。 子供に良い経験になる。X山のことを知りたいので。 親では教えられない事を学ばそうと思った。	5
4	子供の情操教育。子供との遊び	2

まとめ：子供が興味を持っていることと、親の多くも自然に触れる経験をさせたいと考えている。

2. 「森の自然塾」に期待することがありましたら、お書きください。

No.	項目	件数
1	自然遊びの楽しさが学べると良い。自然に親しむ。 自然のことを知る機会になる。自然の不思議に興味をもつ。 色々な知識を教わりたい。自然の大切さなど。 子供が植物に興味を持ってほしい	7
2	子供同士で遊べるプログラム。 森の楽しみ方を教えて欲しい。 自然の材料でモノづくり	3
3	子供が人前で発言することに慣れる。 子供が楽しめるようなプログラム	2
4	今の進め方で十分。是非継続させてほしい。 なかなかできない経験になった	3

まとめ：子供が自然に興味を持って、自然についての知識をもつ。自然を楽しむ遊びやクラフトなどの方法を身につけるようなプログラムを希望している。

3. 新型コロナウイルスの感染につきましては、できる限りの対策を取るという態勢で臨んでおりますが、ご意見やお気づきの点がありましたら、お聞かせください。

まとめ：「問題はない」というご意見が多いが、マスクの正しい着用徹底などの指摘があった。

4. 本日の森の自然塾の感想を、何でも結構ですでお聞かせください。

No.	項目	件数
1	植物や生きものの名前をたくさん憶えられて勉強になった。 知らない花や草木が知れて、親も勉強になった。 詳しい人に教えてもらえて、勉強になった。 詳しく知ることができた。	4
2	思ったよりいろいろな発見があった。 たくさんの知らない草花が見られて楽しかった。おもしろかった。普段気づかなかった季節の移り変わりなど感じられて良かった。	4
3	子供が積極的に質問でき、楽しく参加できた。	1
4	もっと虫を知れると良い。	1
5	色々と準備していただき、ありがとうございました。	1

まとめ：植物や生きものについていろいろ教えてもらい、親も勉強になったし、おもしろかった。虫についてもっとわかると良い。

5. 小学校「総合的な学習の時間」の学習支援

小学校では、通常の科目の他に、横断的・総合的な観点から各学校で「総合的な学習の時間」を作っている。「自然塾」の活動を踏まえ、学校と協議してプログラムを作成し、実施にあたっては主体的に学習支援を行っている。一例を以下に記す。

単元：身近な自然の観察 【X山で見つけたもの】

場所：国分寺市第九小学校 3年生教室 西恋ヶ窪緑地

日時：令和2年9月23日（水）

対象：3年生（60名）

表5 タイムスケジュール

時間	所要時間	内容	場所	備考
8:30		集合	正面玄関入り口	
8:45	10分	理事長挨拶 スタッフ紹介	各教室	クラス担当 1組1班 伊達・加藤 2班 岡本・長谷 3班 二瓶・嶋崎 2組1班 富村・姫野 2班 三田・近江 3班 綿貴・片桐
8:55	15分	校庭へ移動		
9:10 9:25	15分	X山へ出発 X山 到着		
9:25 10:10	45分	X山 観察 X山 出発 帰校後休み時間	X山	
10:40 11:25	45分	講話	1組 X山について 加藤 木と葉っぱの話 二瓶 花と実の話 富村 生き物の話 三田	
11:30	児童の質問			進行：伊達・近江
12:00	終わりの挨拶			
12:10	解散			



野外活動の様子



講話の様子

6. 東京都「里山へGO！」の取り組み

「里山へGO!」とは東京都環境局が主催し、都内の保全地域で、田植え・稲刈り、クラフトづくり、森の手入れなどを体験する活動である。「国分寺姿見の池緑地」で開催する「里山へGO!」で、クラフトを中心にプログラムの一部を担当している。

資料6 東京都「里山へGO！」体験プログラム（令和2年度）

令和2年度「体験プログラム」国分寺児童の池緑地保全地域			
実施日	令和2年9月27日（日）9：30～12：30（スタッフ現地集合8：30）		
実施場所	国分寺児童の池緑地保全地域		
参加団体	■国分寺児童の池緑地の会：10名 ■国分寺市にふるさとをつくる会：6名 ■東京都環境公社：4名		
実施料額	原則9月26日（土）12：00以降 9月26日（土）に実施の対応を以て当日雨天の都合、雨天：00天候により判断 （連絡先：国分環境公社一室係）		
活動内容	<p>(1) 下草刈り (2) クラフト (3) 池水伐採</p> <p>作業は順に分けて行う。必要に応じて、子供には補助指導員を個別につける。</p> <p>※参加費0円</p> <p>・里山の緑地が健全で維持し、自然にふりそそぐ緑し、みどりを取り戻す。今後の保全活動へ参加するきっかけを作る。 ・自然環境を学ぶ体験し、児童活動への理解と参加を促す。</p>		
参加可能人数	30人程度		
タイムスケジュール	時 間	内 容	
	8:30	スタッフ事前打合せ	
	9:10	参加者JR西国分寺駅集合（スタッフ徒歩送迎）	
	9:25	参加者到着時挨拶と受付	
	9:30	開会式（倉庫前） ・活動団体紹介 ・保全地域制度の説明、諸注意 ・検分付 ・意見交換	
	10:00	1班、2班：下草刈り	
	11:00	休憩	
	11:10	1班：クラフト（水鼓場） 2班：池水伐採	
	12:10	アンケート	
	12:30	閉会式（倉庫前）（スタッフ徒歩送迎）	
13:00	公社片づけ、解散		
参加費	運営会社	参加者	
	印刷1のとおり	<p>・作業しやすい服装、靴（長靴、長スボットが望ましい） ・帽子 ・タオル・飲み物（ほろいじ湯の無料）</p> <p>※参加費0円</p>	

これからの課題

自然体験活動を推進する上で直面している課題を列記する。

- ①近年、国分寺市内の宅地化が進み、緑地の減少により植物観察の場所確保・タイミングが難しくなり、季節毎の観察に支障をきたすようになっている。行政の緑地率低下対策に期待する。
- ②急速に「ナラ枯れ」被害が広がっており対策に苦慮している。コナラ・クヌギは小学生自然体験学習の大事な教材（講話・クラフト）である。姿見の池緑地保全地域の場合、最近6ヶ月で20%位の被害を確認し、対策を東京都・東京環境公社と調整中である。
- ③自然体験学習指導者不足が懸念される。スタッフ・指導者募集を国分寺市ホームページ・国分寺市イベント及び当会イベントで行っているが、成果は上がっていない。当会が行っている「森の自然塾」や小学校「総合学習」を安全に行うためには、いずれも10名前後の指導者を必要とする。行政、ボランティア団体が連携して取り組む必要がある。